

スクールホムエライント

「すばらしい運動会」

from 豊山小学校

本校では、九月二十六日、秋の運動会を行いました。前日まで小雨が降るなど思わしくない天気で、開催が心配されましたが、子どもたちの願いが届いたのでしょうか、当日は朝から雨も上がり、盛大に運動会が行われました。ブラスバンド部の演奏による入場行進に始まった運動会、音楽に合わせて胸を張って元気よく行進することができました。



今年もすべての子どもたちが、これまでの練習の成果を発揮し、力一杯の演技を披露しました。一・二年生は合同で豊山ソールランを披露し、かわいいながらも一生懸命踊ることができました。三・四年生の障害物リレーでは、ぐるぐるパット、大玉運び、リム回し、綱くくりなど、さまざまな障害をチームで分担しながら乗り越え、勝利を目指す姿に観客席から声援も送られています。五・六年生の騎馬戦では、団体戦・個人戦ともに白熱した戦いが繰り広げられました。特に勝ち抜き方式による個人戦では、両軍の意地がぶつかり合い、手に汗握る勝負の連続でした。

演技の途中、午前と午後の二回、代表の子どもたちを中心に息の合った応援合戦が行われました。紅白コール

と応援歌、ウエーブなど元気みなぎる力強い応援となりました。

今年も多くの保護者の皆様に参加していただき、盛大に親子ふれあい競技を行うことができました。一年生の玉入れ、二年生の大玉ころがしでは、和気あいあいとした中にも真剣さがありませんでした。三・四年生のひっぱりっこでは、熱心に綱を引く親御さんの姿が印象的でした。また、五・六年生の親子で綱引きではかけ声に合わせてチーム一丸となって綱を引いていました。どの親子競技にも実に多くの保護者の皆様が演技に参加してくださ



りました。前日の高学年による準備から、当日の演技、終了後の後片付けに至るまで、あらゆるところで子どもたちのがんばる姿がたくさん見られました。また、親子の絆、そして地域の絆を深めることのできた運動会、思い出に残る素晴らしい運動会になりました。この経験をこれからの学校生活に生かして行ってほしいと願っています。



第百八十四話

どじょうの味噌汁

どじょう寿司はお祭りやお祝い事の時に各家庭で作られましたが、どじょうは他の方法でも食べられていました。

昔は川をせき止めてかえどりがよく行われました。どじょうの他にフナやナマズもよく獲れました。魚の他にどうびん、つぼなどの貝もよく獲れたので、動物性たんぱく質の供給源になったものです。

どじょうは大きいものを、「おんまどじょう」と言い普通のものと分けていました。

桶にたくさんのお水を入れて獲ったおんまどじょうを入れます。ときどき水を替えます。最初のうちは水が濁りますが水を替えているうちに濁らなくなったら、どじょうが泥を全部吐き出したので、食べても泥臭くなくなります。

小さいどじょうは煮てお寿司に張ったりして食べましたが、大きいおんまどじょうは味噌汁に入れました。

大人の男性はこの味噌汁が好きで、よ



く作りました。味噌汁は野菜や豆腐を入れて煮ます。煮え立ったところにおんまどじょうを入れます。煮上がると指で頭のところを持って、箸で頭の下あたりをはさんで、すうっと下ろします。すると骨だけ残って、身は味噌汁の中へ落ちます。それがとてもおいしかったので、その家の子は、もともっとと言って、父親の分まで食べたものでした。

今は昔の物語です。

(豊山町文化財研究会の郷土文集を参考にしました)

